

# 目標設定シート (2009年度)

## 部局と評価項目・要素

対象部局	統括部局：教務部	担当部局：教務部
<b>大項目</b>	<b>6 教育内容・方法・成果</b>	
<b>中項目</b>	<b>6.3 教育方法</b>	
<b>小項目</b>	6.3.1 教育方法および学習指導は適切か。	
<b>要素</b>	教育目標の達成に向けた授業形態（講義・演習・実験等）の採用 履修科目登録の上限設定、学習指導の充実 学生の主体的参加を促す授業方法 研究指導計画に基づく研究指導・学位論文作成指導（院） 実務的能力の向上を目指した教育方法と学習指導（専院）	
<b>小項目</b>	6.3.2 シラバスに基づいて授業が展開されているか。	
<b>要素</b>	シラバスの作成と内容の充実 授業内容・方法とシラバスとの整合性	
<b>小項目</b>	6.3.3 成績評価と単位認定は適切に行われているか。	
<b>要素</b>	厳格な成績評価（評価方法・評価基準の明示） 単位制度の趣旨に基づく単位認定の適切性 既修得単位認定の適切性	
<b>小項目</b>	6.3.4 教育成果について定期的な検証を行い、その結果を教育課程や教育内容・方法の改善に結びつけているか。	
<b>要素</b>	授業の内容および方法の改善を図るための組織的研修・研究の実施	

## ○2009年度からの目標

- 履修者数が教室の収容定員を超える科目をなくす。
- 学習効果を向上させるために、全学履修登録単位数の上限を年間50単位未満にする。
- 学習を進める上で必要な項目が適切に盛り込まれたシラバスを設計し、記載を徹底する。
- 共通教育としての初年次教育に高学年の学生によるピアサポートシステムを制度化する。
- 全教員が授業評価結果を教育改善に結びつける。
- GPA制度の改善と制度趣旨の周知徹底をする。

## ○指標

- 教室の収容定員を超えている科目数をなくす
- 50単位以上の学部・学科数をなくす
- 不完全シラバス数をなくす
- ピアサポートシステムの設置
- 授業改善コメント用紙の提出率を100%にする
- 成績による選考基準等のGPA統一